

中高生タイムの充実

取組の背景・目的

- 自分達の住む地域の中で居場所が確保できない中高生の為に、小学生の頃慣れ親しんだ場を継続的に利用できるように、月・水・金曜日の 17:00~19:00 を中高生専用とする事業を展開する。
- 中高生の居場所になると同時により積極的、主体的な関わりの中で、子ども交流センターの中での大切な役割を担う集団を作っていく。
- あそびに於いては、子どもの異年齢集団のリーダーとしての役割を担っていく。

取組の概要

- 実施場所
ホール（遊戯室）、図書室、音楽スタジオ
夏休みなどの長期休みには、館外活動を実施
- 実施頻度
毎週月・水・金曜日の 17:00~19:00
- 職員体制
常勤 1、非常勤職員 2
事業の実施で増員が必要な時は、事前にシフトで調整する。
- 事業の実施方法
委託 NPO 法人おおもり子どもセンター

工夫点・留意点

- 中高生タイムにおいて、月 1 回、行われる中高生作戦会議では、企画、運営を中高生とスタッフと一緒に話し合いながら進めていく。
- 中高生タイム以外の来館時では、ホールでのボールあそび等の際は、小学生の中に入り、異年齢集団であそぶ楽しさをリードする。
- 中高生タイムスペシャル（月 1 回）等のイベントの実施には、準備から片付けまで参加者の中高生も一緒に行う。
- 来館時には、スタッフが積極的に挨拶や声掛けをし、いつでも気軽に来所できる雰囲気づくりに努めている。
- 地域立の特徴を生かし子ども交流センターならではの様々な活動・体験を行い、新たな自分の発見や地域の方々とふれあう機会をつくる。
- バンド登録をすると音楽スタジオ（無料）でバンドや楽器の練習ができる。

取組の効果

- ・中高生タイム、中高生タイムスペシャル（月1回）の自主的、主体的な関わりがやがて子ども交流センターの運営の参加にもつながっている。

具体例

- ① 乳幼児親子～大人までの地域を含めた行事に自主的に中高生の企画をたて参加全体的な準備や終了時の片付けも積極的に関わってくれた。
- ② 利用者から小中高生の相手をしてくれるスタッフ側になり、地域の先輩として活躍してくれている。
- ③ 8月に行われたライブ&タッチにおいて楽器の練習成果の発表や参加した小学生の楽器体験の補助、行事の準備や片付けに関わってくれた。

取組みの効果

- ① 年末会での綱引き準備とその様子



- ③ ライブ&タッチでのドラムの披露と楽器体験の様子



課題・今後の展開

- ・中高生タイムを担うスタッフ（職員・非常勤職員）の育成と人員の確保をする。